

登録コード	E2833900	開講年度	2026				
授業科目	住居学実験				担当教員	山岸 明浩	
英文授業名	Experiments in Housing Environment				副担当		
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・5時限～6時限前半	対象学生	3年生
講義室	教育W301		授業形態	実験	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				中・高等学校の家庭科を担当する教員として、住生活領域の調査・分析に基づく教育活動を行う上で必要不可欠な専門的知識と技能を身に着けるとともに、学んだ知識と技能を実践しながら、それらを振り返り、常に改善し、磨き上げていこうとすることができる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	住まいに関するデータの測定・調査方法，データの理論的な意味と評価方法について理解する。コンピュータを用いたデータ処理，作図方法について理解する。これらを通じて，科学的な思考と表現の仕方について理解する。						
(5)授業計画	第1回：ガイダンス 第2回：住居学で扱われるデータの種類 第3回：調査方法と解析手法 第4回：自然環境データの収集・解析1（測定機器のしくみ） 第5回：自然環境データの収集・解析2（測定機器の取り扱い） 第6回：自然環境データの収集・解析3（測定機器の設定） 第7回：自然環境データの収集・解析4（測定データの取込とデータチェック） 第8回：自然環境データの収集・解析5（測定データの解析と考察） 第9回：統計データの収集・解析1（統計データの種類とサンプリング） 第10回：統計データの収集・解析2（統計データの利用方法） 第11回：統計データの収集・解析3（統計データの解析と考察） 第12回：アンケートデータの収集・解析1（アンケート票の作成方法） 第13回：アンケートデータの収集・解析2（質問項目とデータの質） 第14回：アンケートデータの収集・解析3（アンケートデータの解析手法） 授業アンケートを実施 定期試験（レポート課題）						
(6)成績評価の方法	成績評価の考え方は、次のとおりである。 ・住居にかかわるデータの収集・解析手法を理解し，住居について自らが考え，自己啓発に努めることができるかを測るためのディスカッションの評価 30点 ・住居を科学的な視点から捉えるための知識・技能を備え，それらを用いて得られた知見を住生活に応用できるかを測るためのレポート課題 70点 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀，89-80% 優，79-70% 良，69-60% 可，59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	(a)住居学で扱うデータの内容についての理解，(b)データの質の違いによるによる解析手法の違いについての理解，(c)解析結果に基づく考察力について，(a)～(c)の項目について基礎的な習得ができていれば「合格水準にある」，どれか1項目について卓越した習得が認められれば「やや上にある」，どれか2項目について卓越した習得が認められれば「かなり上にある」，全項目について卓越した習得が認められれば「卓越している」。						
(8)事前事後学習の内容	毎回の授業では，前週，または次週の授業内容にかかわる発問を毎回行うので，履修にあたっては事前・事後の取り組みを行い授業に臨むこと。						
(9)履修上の注意	・全回出席すること。理由の如何を問わず，欠席回数が多く授業の達成目標に到達することができない場合，単位認定に至らないので注意すること。 ・実験形式の授業であるため，受講に際しては実験前の事前準備と実験後のデータ整理，考察を行うこと。 ・卒業研究で，住居学領域を選択する学生は必ず履修すること。 ・原則として対面で実施する（初回の授業は，履修生の全体状況を把握するため対面とする）。						
(10)質問，相談への対応及び連絡先	質問，相談は主にメールで応じる。 山岸明浩 yamaaki@shinshu-u.ac.jp 026-238-4187						
【教科書】	授業時に適宜紹介する。						
【参考文献】	授業時に適宜紹介する。						